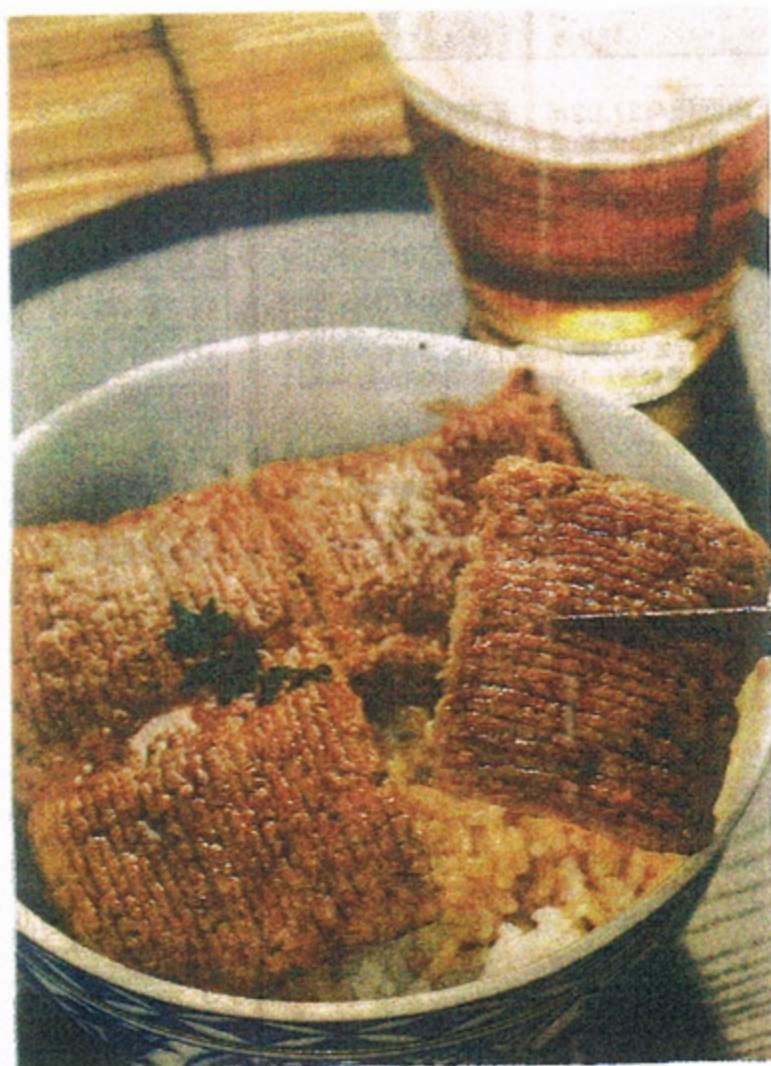


サマーセミナー

「中長期の展望を描く」

平成29年8月23日

於・京都ロイヤルホテル&スパ



1ヵ月で1億円の大ヒット商品！

税理士 早川嘉美

主催／税理士法人ハヤカワ  
㈱サクセス・シミュレーション

## サマーセミナー「中長期の展望を描く」

### 1 中長期の展望を描く

#### 1 世界の「創業 200 年超の企業」の半数は日本企業である理由

日本には 2017 年時点で創業 100 年を超える老舗企業が 3 万 3000 社以上あるとされ、さらに世界中に存在する創業 200 年を超える企業のうち、実に 50% 以上が日本企業だという調査もある。長大な歴史を持つ中国には多くの老舗企業が存在していそうな感があるが、実際には創業 100 年を超える企業は数えるしかないという。

中国メディアの今日頭条は 2 日 (5 月)、創業 100 年を超える老舗企業が日本に数多く集中しているのはなぜだと疑問を投げかける記事を掲載した。中国の紀元前の儒教者である孟子は「徳ある家は 10 世代にわたって繁栄できるが、金持ちは 3 世代も続かない」と述べたとされるが、これはまさに真理を突いていると説明している。

記事は、日本には長年にわたって続く企業が多くある理由として、日本は家族経営の企業が多いため、終身雇用と年功序列によって血縁者のなかから後継者が選ばれると指摘。後継者争いが起きにくい環境にあることが日本企業が長く存続できる理由の 1 つだと論じた。

また日本企業は本業を非常に重視し、目先の利益より信頼を重視すると指摘、誠実に自分の仕事を極めようとする姿勢も日本企業の長寿の秘訣とした。確かに中国企業は目先の利益を追い求める傾向にあり、株式でも不動産でも、儲かるとみれば本業の資金まで突っ込む企業は少なくないと言われる。

ほかにも記事は、日本人は仁愛や和などの道徳を重んじ、技術の育成や継承によって社会に貢献することを企業理念とする傾向にあるため、企業と社員との間にも良い関係が培われていると論じた。

ソニーを世界規模の会社に成長させることができた理由の 1 つとした。では中国の経営者にはこうした資質や見識がないかということ、「中国人は手段を選らばずお金儲けをする方法は知っているが、本業を維持し、発展させていく術を知らない」とした。

(出展:三井ダイレクト損保 2017.5.15)

2 老舗に見る企業理念（社是・社訓）

ヨキモノを創る…鶴屋吉信 享和3年創業（1803）

来者如帰…杵家 文政元年（1818）

3 老舗企業の技術革新

II 企業の繁栄・発展は有言実行にあり！

1 百聞不如一見

百見不如一考

百考不如一行



3 難しい言葉で立ち止まるより、実行あるのみ！

齋藤孝著 子ども向け超訳『こども君主論』より



はじめに

2

3分でわかる「君主論」

4

この本の読み方

10

コラム1

マキヤベリってどんな人？

12

第一章

覚悟

： 勇気をもつ

いつも迷ってばかり……

決断力のない君主は、当面の危機を回避しようとするあまり、多くのばあい中立の道を選んで、破滅へと向う。

14

なんだかうまくいかないとき

(君主は、) 古い軍隊を消滅させ、新しい制度を組織した。古い交友を捨て、新しい盟友をつくった。……この基盤のうえに、思うままに建物を築くことができた。

16

だれからも嫌われたくない！

悪徳なくては  
政権を救うことが困難であるようなばあいには、  
悪徳の評判など、かまわず受けるがよい。

18

つい見栄をはってしまおう……

偉業はすべて、けちと見られる人物の手によってしか  
なしとげられていない。

20

自分らしさをどう育てる？

すべての面において善い行いをしたいとねがう人間は、  
よからぬ多数の人々のなかにあつて、破滅せざるをえない。

22

できるだけ楽をしたい！

賢明な君主は……他国の兵力をかりて手にした勝利など、  
本物ではないと考えて、他者の力で勝利するよりは  
むしろ自己の力で敗北することをねがった。

24

第2章

仲間・信頼される人になろう

人に認めてもらいたい！

(人々は、) 確かな経験を積むまでは、新しいことを本気で信じようとしなさい……  
(それは) 人間の猜疑心のためである。

28

こころの距離を縮めたい

現地に住みつけば、不穏な気配が生じてもそれを察知して、すばやく手当をすることが出来る……

30

信頼ってたいせつなの？

(君主が) 民衆の厚い信望に支えられているとなれば、どんなに向こう見ずな人間でもとても謀反にふみきれない。

32

本当にすごい人とは……

(新しい君主に必要なことは、) 民衆から愛されるとともに恐れられること、…… 厳格であると同時に、丁重で寛大で、闊達であること、……

34

人づき合いのコツって？

加害行為は、まとめて一度になさねばならない。…… 恩恵は、よりよく人に味わってもらおうように、小出しにやらなくてはいけない。

36

ひどいことをされた！

とかく臆病風に吹かれたり、誤った助言に従ったりして、(人々を手懐ける行動と) 逆のことをやってしまうと、その人は必然的に、いつも手から短剣が放せなくなる。

38

この人ってどんな人？

側近が有能であり、かつ誠実であれば、その君主は聡明だと評価してまちがいない。

40

すごく運がいいみたい！

ただ運に恵まれただけで君主になった人々は、  
勞せずして君位を得ても、  
これを保持するには多大な苦勞が伴う。

44

もっと自分を成長させたい！

人間は……先人の行為を模倣しながら進むものだが、  
先人の道は完全に辿ることができないし、  
目標の人物の力量にまで達することはできない。

46

自信がないのにリーダーに……

(君主は、)よい氣質を、なにからなまでに  
現実にそなえている必要はない。  
しかし、そなえているように見せることが大切である。

48

強いだけではダメなの？

君主は、野獸の氣性を、適切に学ぶ必要があるのだが、  
……なかでも、狐とライオンに  
学ぶようにしなければならぬ。

50

どの意見を信じるべき？

君主は、国内から幾人かの賢人を選びだして、  
彼らにだけ、眞実を告げる自由の機会を与えればよい。

52

努力するのはもう疲れた……

(革命を目ざす君主が、)自分の能力を信じ、  
いざというときに実力を行使できるならば、  
めったに窮地におちいることがない。

54

## 第4章

# 運命…未来を選びとる

理想の自分になりたい！

人間いかに生きるべきかを見て、  
いかに人がいま生きているのかを見逃す人間は、  
自立するどころか、破滅を思い知らされるのが落ちである。

58

成長をじやまするものって？

ある道を進んで繁栄を味わった人は、  
どうしてもその道から離れる気がしない……

60

ルールってだいじでしょ!?

(君主は、)まったく逆の気質に変わりうる、  
ないしは変わる術を心得ている、  
その心構えがなくてはいけない。

62

チャンスをつかむには……

人は、慎重であるよりは、  
むしろ果敢であるほうがよい。

64

運命ってどんななもの？

かりに運命が人間活動の半分を、思いのままに  
裁定しえたとしても、少なくともあとの半分か、半分近くは、  
運命がわれわれの支配にまかせてくれている……

66

おわり

68

おんなのみなわこ

70

### III 取捨選択のキーポイント

#### 1 稀勢の里 効果

横綱に昇進が決まった時の稀勢の里がトントン拍子に出世を遂げながら外国勢の厚い壁に阻まれ、三役に定着できないでいたころの談話が残されている。

「体格や筋肉の柔らかさでは及ばず、日本人の限界もある。ならば精神面で対抗するしかない」

精神的にもろいと言われ続けていた稀勢の里がこのような言葉を残していたのです。

いま、大相撲は稀勢の里効果で若手の頑張り、それも日本力士に大きな影響を与え続けています。当分続くのではないのでしょうか。

一人の動きでこれほどにも影響を与える好見本だと感じています。その一人になろうではありませんか。

#### 2 ご注意！「ロコモ症候群」急増中！！

適度な運動は不可欠ですよ！！

#### 3 働いても働いてもまだ時間が足りない？

なぜ??

#### 4 人間の能力はAIに勝てない？

最強将棋ソフトは1秒間に数億局面を読む。ではギブアップするのか??

#### 5 一人称で考えて行動しましょう！

#### 6 会社と家計は同じ＝収入に合わない生活は続かない！

#### 7 100歳まで働く時代がやってきた

年金に頼る老後は高齢貧困につながる

### IV 付録

#### 1 現代のことば（京都新聞から）

一生モノの勉強法

#### 2 現代のことば（京都新聞から）

愛するということ







どうか、世間や組織や国は、

人々が勝手にさまざまなモノやコトを愛したり、さまざまな愛し方をすることはいやがるみたいですね。

愛国心や郷土愛、理系の偏重と文系の軽視、結婚や恋愛のスタイル、家族のあり方など、さまざまな介入してきていますよね。何をどのように愛すべきかを意識的な「愛」の形に自らをはめ込んだり、他者に強要したりしています。

やはり、私はいやなのです。私に関わっている美術、芸術の世界は、人類の持っている根源的な「愛する」自由に関わって

おり、そのものだと言ってもよい

と思っています。「愛」や「世界」

の多様性が保証される社会のため

に芸術はあるのだと思っていま

す。もちろん、身勝手な「愛」や

他者を傷つける「愛」などは困

りますが、それは関係の深さによ

ります。深まりの中で、尊敬の念や

謙虚さも同時に学ばれるのではな

いでしょか？

子どもたちが、単一の価値観と

スタイロと道徳観で成長していく

と、単一の価値観の社会ができて

しまいます。そのような社会は変

化に弱く、不寛容で排他的な社会

になりがちです。自ら思考し行動

する人々の集まりの社会は本来多

様性を保ち持っているはずなので

す。

私はいやなので

れている。

ある関係も「愛」

と云ってみていま

す。その「愛」に

さまざまなモノ

やコトに興味を持

つこと「愛する」

ということば、人

類が本来持つてい

る根源的な自由の

一つだと思っ

ています。「愛」は興味や好奇心が

始まりです。そのスタートがな

いと、対象との関係の深まりや、

飛躍はないと思つのです。

さらに、その関係の作り方は人

の数だけあり、多様であるはずで

す。人との「愛」の形は一つ

ではありません。学問も本来多様

です。仕事や遊びも生活の仕方も

多様なはず。子どもたちもい

ろんなモノやコトに興味を持ちま

す。そのことが世界の多様性を創

り出し、魅力ある未来の可能性が

保証されていると思つのです。

## 愛するということ

しかし、その多様性が世間や組

織や国の介入によって阻害されて

いる。国や郷土をこのように愛し

なさいとか、早急に結果のでない

学問はやめなさいとか、稼げない

仕事は意味がないとか、こんな家

庭を築きなさいとか、子どもはこ

う育てなさいとか、介入ととも

に私たち自身も、知らぬ間に典型的

な「愛」の形に自らをはめ込んだ

り、他者に強要したりしています。

やはい、私はいやなのです。

私に関わっている美術、芸術の

世界は、人類の持っている根源的

な「愛する」自由に関わって

おり、そのものだと言ってもよい

と思っています。「愛」や「世界」

の多様性が保証される社会のため

に芸術はあるのだと思っていま

す。もちろん、身勝手な「愛」や

他者を傷つける「愛」などは困

りますが、それは関係の深さによ

ります。深まりの中で、尊敬の念や

謙虚さも同時に学ばれるのではな

いでしょか？

子どもたちが、単一の価値観と

スタイロと道徳観で成長していく

と、単一の価値観の社会ができて

しまいます。そのような社会は変

化に弱く、不寛容で排他的な社会

になりがちです。自ら思考し行動

する人々の集まりの社会は本来多

様性を保ち持っているはずなので

す。

私は子どもたちにもさまざまな主

人ノコトに興味を抱いてほしい

し、長くつきあえる対象に出会っ

てほしいのです。そして深く関係

を築いてほしいのです。そのため

に、私自身も社会の多様性に関与

多様なはず。子どもたちもい

ろんなモノやコトに興味を持ちま

す。そのことが世界の多様性を創

り出し、魅力ある未来の可能性が

保証されていると思つのです。

(美術家、京都市立芸術大教授)

# 現代の ことば



かまた ひろき  
鎌田 浩毅

<http://kyoto-np.jp/>

大学で指導している学生から勉強法について質問を受けることが役立ち、時には自分が大きく変わるような勉強が望ましいだろう。そこで二つの提案は、身につけた内容が着実に積み上がるような勉強法である。一生の宝になるという意味で「生毛の勉強法」と呼んでいるが、拙著のタイトルにもなっている。

そのポイントは「継続」であり、短時間でよいから毎日コツコツ勉強を続けてゆく。自転車に乗るスキルは、いったん習得すれば一生なくならない。地道に積み上げた勉強も、一生にわたって消えることはないのである。

世間の流行や見栄で勉強する人も少なくないが、ちよつと辛くなると止めてしまう。それでは勉強が定着せず、時間とともに風化し、いつか元の状態に戻ってしまう。どんな勉強でも継続すれば必ず積み上がるもので、そこに努力を向けてほしい。すなわち「継続は力なり」。

三つ目は、勉強の仕方を探すとくに熱中するあまり、肝心の勉強時間がなくなる、という笑えない事実である。真面目な人ほど陥りやすいのだが、何を隠そう、若い頃の私の姿でもある。その後、教授になつてから勉強法や時間術の

だが、この視点で学生のみなさんや社会人の勉強法を点検してみると、三つの問題点が見つかる。

一つ目は、思いつきで場当たりに勉強している人が非常に多く、自分の達成したい目標が明確でない。たとえば、資格試験に合格したいのか、原書が読めるようになりたいのか、もしくは教養を深めたいのか、はつきりさせてから勉強を始めたほうがいい。

ここで私は「アウトプット優先主義」という考え方を提案する。

そもそも勉強とは知らなかったことを頭にインプットする作業である。それを最終的なアウトプット、たとえば試験合格という結果を最も優先に考えながら、勉強のスケジュールを立てる。報告書を書いたメールを立てる。報告書を書いたリブレゼンしたりなどの情報発信でもよい。必ず出来上がりのアウトプットをイメージしながら、合理的な勉強（インプット）を行うのだ。

さらに、せっかく勉強するなら「継続は力なり」「勉強の方法論に熱中しすぎない」という三つの助言を念頭に置き、合理的な勉強法によって豊かな人生を作り上げていただきたい。

(京都大教授・地球科学)

読者応答室 075(24)15421

ご購読・配達には 0120-464-468

受付 075(24)15430